

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号
課かい名 財政課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 8.9 ページ

科目	款	項	目	事業 1	事業 2
	2	1	5	1	5

事業名 みんなで乗り越える新型コロナウイルス感染症対策基金積立金

補正額 165,308 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

みんなで乗り越える新型コロナウイルス感染症対策基金からの繰入れの必要額が確定したことから、既に繰入れた金額との差額を同基金に戻すための積立てを行うもの。

説明

令和 2 年度基金繰入れの必要額 (財源充当額) = 116,251,210円

今回の積立額 = 165,307,790円

【参考】積立後の基金残高見込み = 494,520,536円 (当初予算繰入金額の繰入後)

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会

議案第 42 号

令和 3 年度 一般 会計

補正予算 第 6 号

課かい名 企画課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 8.9 ページ

科目	款	項	目	事業 1	事業 2
	2	1	8	2	1

事業名 企業誘致等推進事業

補正額 4,000 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	3	1	1	2

細節名 新たな旅のスタイル促進事業委託金

補正額 4,000 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

ワーケーションを推進することで、関係人口、関係法人を創出し、企業誘致へとつなげるため、観光庁のモデル事業として企業と連携したワーケーションモデル事業を実施するもの。

説明

歳出

観光庁「新たな旅のスタイル」企業と地域によるモデル事業
(新たな旅のスタイル促進事業委託金 10/10補助)

- ・感染症対策消耗品 100,000円
- ・新たな旅のスタイル促進事業
(ワーケーション体験等) 委託費 3,200,000円
- ・市内ワークスペース利用料 700,000円

歳入

新たな旅のスタイル促進事業委託金 4,000,000円

新たな旅のスタイル促進事業

I 事業の概要

1. 背景及び目的

ワーケーションを推進することで、関係人口、関係法人を創出し、企業誘致へとつなげるため、観光庁のモデル事業として企業と連携したワーケーションモデル事業を実施するもの。

2. 対象

観光庁のモデル事業へ共同提案した企業（株式会社エムティーアイ）

3. 手段

市内ワークスペース、市内バケーションコンテンツを利用し、3泊4日のワーケーション体験を実施する。（ワーケーション実施に係る交通費及び宿泊費は、観光庁から共同提案した企業へ直接支払われる。）

II ワーケーション体験の実施

1. 開催時期：令和3年11月～令和4年1月

2. 開催回数及び人数：1回5名程度、3回実施

3. 委託業務の内容

（1）ワーケーション体験の企画・運営

（2）効果検証の実施

（3）事業報告書の作成

III 予算

消耗品費 100 千円

委託費 3,200 千円

使用料及び賃借料 700 千円

特定財源：新たな旅のスタイル促進事業委託費（4,000 千円）

事業内容提案書（企業と地域の共同提案）

2021年7月5日

観光庁 参事官（MICE・国際関係） 殿

申請団体名)

モデル企業： 株式会社エムティーアイ

モデル地域： 神奈川県逗子市

業務の名称： 「新たな旅のスタイル」促進事業

標記業務について、事業提案書を提出いたします。

作成者) モデル企業： 住所 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー35F
担当部署 人事部
氏名 鷺頭有沙
電話番号 03-5333-6796
FAX なし
E-mail washizu_a@mti.co.jp
モデル地域： 住所 神奈川県逗子市逗子5-2-16
担当部署 経営企画部企画課企画係
氏名 上田 雅大
電話番号 046-873-1111 (内戦312)
FAX 046-873-4520
E-mail kikaku@city.zushi.lg.jp

■単独採択の意思



企業もしくは地域のいずれかが不採択になった場合においても提案を取り下げず、
企業もしくは地域、単独で事業を実施します。

<実施体制及び組織の概要（モデル企業）>

	配置予定者名	所属部署 役職	連絡先
応募責任者	岩淵 由希	人事部 部長	TEL： 03-5333-6796 E-mail： iwabuchi_y@mti.co.jp
窓口担当者	鷺頭 有沙	人事部	TEL： 03-5333-6796 E-mail： washizu_a@mti.co.jp

■組織情報

組織名：	株式会社エムティーアイ
所在地：	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー35F
従業員数：	1,192名（連結・2021年3月31日現在）
業種：	情報通信業

■ワーケーション・プレジャー等に係るこれまでの取組

①取組の概要

2020年10月よりテレワーク制度を全社員およびアルバイトに対して導入し、在宅勤務・モバイル勤務を可能とし、セキュリティが担保されていればどこでも仕事ができるようになっている。
ワーケーションやプレジャーについては会社として実態は把握していないが、実質可能な状況。現在、オフィスへの出勤率は4%となっており、ほぼ全従業員がテレワークが可能な状況となっている。
また、所属オフィスからの通勤圏外に転居しテレワークで勤務が可能な圏外転居制度も同時に導入。現在、20名が当該制度を活用している。

②ワーケーション等に係る規程や制度の有無

テレワークに係る規程や制度	<u>あり</u>
ワーケーション等に係る規程や制度	<u>なし</u>
その他、関連する規程や制度等	<u>テレワーク手当、スーパーフレックス制度あり</u>

③申請団体における、ワーケーション等に係る既存の取組

担当部署	コーポレートサポート本部 経営企画統括部 人事部
ワーケーション等の制度利用が可能な所属員数/割合	770名 96%※有期雇用を含む

ワーケーション等の制度導入状況（どれか一つに○）

1. 制度化され既に運用（利用）している
2. 制度化はされているものの運用（利用）しているとは言えない
3. 制度化はしていないが、ワーケーション等を認めており実施している所属員がいる
4. 制度化していない、かつ、潜在的なワーケーションの実態を把握していない
5. その他（)

■既存の取組についての自己評価

在宅勤務という働き方については、ほぼ全ての社員が実施しており、制度の理解および活用が進んでいると考えている。在宅における執務環境整備のための支援金や、通信回線費・水道光熱費としてのテレワーク手当を支給し、家で仕事をする環境は概ね整っている。しかし、物理的に仕事ができるスペースがない、在宅での働き方が合わないと感じる社員に対するケアがまだ不十分であり、今後は、在宅以外の働き方（ワーケーションだけでなく、オフィス出勤も含め）を検討し、リアルとオンラインが融合し、より生産性高く働きやすい職場環境を整えていく必要がある。

④その他（特筆すべき取組等）

新型コロナウイルス感染症の拡大で、採用した外国籍社員について、現在日本に住居を移し働くことができないため、外国からテレワークを実施中。

< 業務実施体制 (モデル地域) >

申請主体			
申請主体種別	地方自治体	組織名	逗子市
対象地域	神奈川県逗子市		
代表者名(役職)	桐ヶ谷 覚 (市長)		
所在地	神奈川県逗子市逗子5-2-16		
代表番号(電話)	046-873-1111	代表番号(FAX)	046-873-4520
窓口担当者			
担当部局	経営企画部企画課企画係	氏名(役職)	上田 雅大 (主事)
電話番号	046-873-1111 (内線312)	メールアドレス	kikaku@city.zushi.lg.jp
趣意書提出組織 (自治体・DMO以外が申請主体の場合)			
組織名		代表者名	
担当部署		担当者名	
担当者電話番号		担当者アドレス	
連携組織名			
	組織名	担当者・役割	
	逗子市観光協会	事務局長 若菜克己 / 観光地紹介	
	逗子市商工会	事務局長 山崎真 / 飲食店調整	
	逗子マリン連盟	マリンボックス100代表取締役 小林太樹 / マリン体験	
	市内ワーキングスペース事業者	ON/OFFice ZUSHI等 / ワーキングスペース提供	
	株式会社リビエラリゾート	専務取締役 山崎哲雄 / マリブホテル宿泊及びマリブ体験	
	株式会社 JTB 横須賀支店	営業担当課長 田中亨 / ワークেশヨンプログラム開発	

< 取組概要 (モデル企業) >

申請団体名	株式会社エムティーアイ
-------	-------------

組織で導入を検討するワーケーションの種類 (複数選択可)			
1.福利厚生型		4.サテライトオフィス型	○
2.地域課題解決型		5.プレジャー型	
3.合宿型	○		

■新たな旅のスタイル促進に係る取組内容

①ワーケーション等を導入する目的と組織にとっての意義

- ①在宅勤務で課題がある社員の執務環境の改善
- ②在宅勤務が長期継続することによる心身の不調の改善
- ③リアルにつながりで生まれるコミュニケーション活性やイノベーションの創出

②ワーケーション等の導入にあたって検討または既実践している業務運営上の工夫

- ・モバイルワーク含むテレワーク規程の整備、スーパーフレックスの導入
- ・VPN接続を導入し、より安全な状態で社内ネットワークへ接続していただくために接続前の認証・認可を強化
- ・チャージ利用ができる経費精算カードを導入し、コピー対応など会社経費を利用しやすい環境を整備
- ・セキュリティガイドラインを作成し、モバイルワークにおけるセキュリティ基準を整備

③ワーケーション等の導入における現行の規程・制度上の課題と今後の対応

労務管理やセキュリティ基準をより明確にし、ワーケーションだけでなく、いつでもどこでも個人が働きやすい環境を選択し仕事ができるように、活用しやすい明確なルールを整えていく

④ワーケーション等の滞在先で行う具体的な取組の実施内容や特色 (特に地域課題解決型、合宿型の場合)

- ・ワークをメインとしたワーケーションを実施したい
- ・いつもとは違う環境の中でワークすることにより生産性向上を図りたい
- ・在宅勤務における閉塞感や十分な設備で仕事ができない、仕事ができる部屋がない等の課題を解決したい
- ・ワークの以外の時間に、リフレッシュやコミュニケーション、イノベーションが生まれるアクティビティを実施し、心身の健康維持・向上や、コミュニケーションの活性化、イノベーションの創出を目指す

⑤アドバイザーに指導してほしい内容

- 1回目：現在の就業規則や制度内容から労務管理、セキュリティ管理等の現状の把握と課題の洗い出し
- 2回目：ワーケーションの課題を踏まえ、自社の導入目的に則したコンセプトの策定と導入における支援
- 3回目：トライアル実施後の本格導入に向けた課題と解決策、自社に合った運用方法の提示

⑥本事業において期待される効果

- ①社員の執務環境の改善
- ②在宅勤務が長期継続することによる心身の不調の改善
- ③リアルにつながりで生まれるコミュニケーション活性やイノベーションの創出

⑦その他

ワーケーションが実施可能な制度は整っており、働き方について改善の余地はあるものの、ワーケーションにトライする心理的ハードルが高いのではないかと認識している。今回モデル企業としてトライアルを実施し、ワーケーションの効果を組織と個人が実感することで、活用される制度としていきたい。

< 事業計画書 (モデル地域) >

申請団体名

逗子市

モデル地域において造成・磨き上げ等で取り組むワーケーションの種類 (複数選択可)

1. 福利厚生型		4. サテライトオフィス型	○
2. 地域課題解決型		5. プレジャー型	
3. 合宿型	○		

■モデル企業とのマッチングの経緯

関係法人創出を目的にワーケーション推進に取り組んでいる逗子市と、ワーケーション導入を検討しているエムティーアイがワーケーションにおける情報交換を行い、方向性が合致した。

モデル企業と行ったこれまでの取組と効果

エムティーアイはまだワーケーションの実施をしていないが、逗子市のワーケーション推進の概要や特徴、魅力などを情報提供し、逗子市でワーケーションを実施する意向となった。

モデル企業と本事業終了後も継続的な実施を想定している取組

エムティーアイがワーケーションによる人事課題を解決するためにワーケーションの継続的な取組は必要であり、逗子市におけるワーキングスペースの法人契約等を含めて検討する。

■モデル地域における取組

①地域においてワーケーション等を受け入れる目的・ビジョン

本市は、かつて企業の保養所や研修所が数多くあったが、現在はなくなり、企業単位で受け止められる施設が市内にない状況が課題となっていた。

また、住宅都市と発展してきた本市は、高齢化率が高く企業等が少ないことから財政の硬直化が進んでいる。財政構造の転換を図る取り組みの1つとして、企業誘致を行っているが、企業誘致にはハードルがあり、まずは逗子を知ってもらったり、逗子で何かしたいと思ってもらうことが重要と考え、新たな人の流れを生み、新たな働き方を逗子市から発信し、関係法人、関係人口を創出し、最終的に企業誘致や移住・定住へつながることを目指している。またワーケーションに取り組む事により、平日の宿泊客の増加や観光入込客の平準化を図る。

②ワーケーション等の受入における地域の課題

ワーケーション推進における市内ワーキングスペース運営事業者、ワーケーションコンテンツ提供事業者、商店街、観光協会等の事業間における連携が不足しており、受入環境整備をプログラム開発等ソフト面で行う必要がある。逗子の地域特性上、夏の海水浴シーズンは来訪客が多い為、課題である閑散期でのワーケーションの推進が地域にとって効果的であると考える。

③地域におけるワーケーション等のこれまでの取組経緯

令和元年11月より「ワーケーション自治体協議会」に加入し、民間事業者とともにワーケーション推進に取り組んでいる。令和2年度には本市所有施設の一部を活用し、戸田建設株式会社と協定を締結し、地域連携型ワーケーションの実証実験を実施している。また、神奈川県が支援し実施したワーケーション活性化施策「遊ぶ広報プロジェクト」のフィールドに本市が認定され逗子型ワーケーション確立に向け取り組んでいる。

④ワーケーション等の受入にあたり、地域において取り組む事業概要

地域事業者の課題である「連携不足」を解消するためには、ワーケーションを実施する「目的」を共有化することが必要である。今回の事業では、逗子の特色を活かした「アーバンワーケーション」をテーマとして、首都圏企業をターゲットとして「手軽にできるワーケーション」をコンセプトにプログラム開発及び事業推進を実施する。また今回の事業を通じて継続的にワーケーション実施するようにする為に、ワーキング施設の法人契約を増やす取組を行う。

⑤本事業において実施する具体的な取組

コンテンツ磨き上げ⇒コンテンツパッケージ化⇒ワーケーションプログラムの実施⇒次年度に向けた取組計画策定

●アーバンワーケーションのコンテンツ磨き上げ

逗子ならではのコンテンツをワーケーション仕様に。具体的には以下記載の「ワークの充実」を図れるようなワーケーションコンテンツにする（以下、実施検討プログラム）

早朝ヨガ：朝に体を有機的に動かすことにより脳の動きを活性化させ、その後のワークを効果的に行う。

マリン&海上ランチ：昼食休憩に海へ出てリフレッシュする事により、心身ともにリセットする効果を働かせる。

夕方焚き火カフェ：逗子海岸で富士山をバックに夕焼けを見ながら、焚き火を囲んでイノベーションを働かせる。

●コンテンツのパッケージ化

滞在時自由に利用できる「ZUSHIパッケージ（仮称）」を参加者一人づつに配布する。一人3万円分のパッケージにして、早朝ヨガやマリン体験を自由に使えるようにする。参加者の予約調整作業についてはJTB横須賀支店が行う。

●逗子の特色とエムティーアイの課題に合わせた「アーバンワーケーションプログラム」を実施する

1. ワーケーションを推進すべく有線する取組みとして「ワークを確りと行える働く環境提供」を行う。海の前立地や1棟貸切可能などそれぞれ特色のある市内ワークスペース7個所に加えて、マリン体験提供する事業者の空きスペースやリゾート気分を味わえる施設を提供し、まずワークの充実を図る。
2. ワークにイノベーションや効率化を促すためのパッケージの提供を行う。具体的には逗子の持つ一番の魅力である「海」をコンテンツとして「早朝ヨガ」や「マリン&海上ランチ」の提供する。また、ワークスペースから徒歩圏内にある市内飲食店を自由にえらべるミールクーポンを提供し、逗子の飲食を味わって頂く。
3. 宿泊については3パターン準備し、それぞれのメリットデメリットを利用する企業に抽出して頂く。

< 代表的なワーキングスペース >



⑥既存のワーケーションコンテンツ・プログラム等

ワーケーション等の取組事業者数	7件
ワーケーションコンテンツ・プログラム数	0件
ワーケーションプログラムの販売実績 (把握できている場合は記入)	0件
	0件

■既存のコンテンツ・プログラムの概要

市内ワーキングスペース運営事業者、ワーケーションコンテンツ提供事業者、商店街、観光協会等の事業間における連携が不足しており、コンテンツ・プログラムが示せていないが、観光協会の協力のもと、2022年の春を目標に整備・整理を行っている。

⑦地域における現状の受入体制

ワーキングスペース：7か所のワーキングスペースが逗子市ワーケーション冊子に掲載（内3件は宿泊可能）

飲食箇所：逗子市ワーケーション冊子に20か所の施設掲載

ワーケーション推進：2021年度ワーケーションを軸としたホームページの改修・整備を行う

⑧新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組

感染防止ガイドラインについては下記を参照のうえ適切な対応をとるものとする。

●滞在場所：「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会・日本旅館協会・全日本シティホテル連盟）

同ガイドラインにて特に留意する点は以下の通りである。

- ・従業員や宿泊客等の動線や接触等を考慮したリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策を検討
- ・他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定（パブリックエリアの家具類、フロントデスク、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、テレビや空調機等のリモコン、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり、エレベーターのボタン、自動販売機など）
- ・人と人との距離がどの程度保てるかや、施設内で大声などを出す場がどこにあるかなどを評価と定められており、詳細についてはガイドラインを遵守する。

●ワークの場所：「オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」（経団連）

同ガイドラインで定められている10項目のうち、通勤にかかわる事項以外の「休憩・休息スペース」「トイレ」「設備・器具」「オフィスへの立ち入り」「感染防止策の啓発」「感染が確認された場合」について具体的な対策を講じる。

（対策）

- ・ワーキングスペースに消毒液の設置、床シート設置、フェイスシールド、アクリル板設置
- ・空間除菌、アルコール除菌、3層構造マスクの提供

●飲食店：「外食業の事業継続のためのガイドライン」（日本フードサービス協会）

本事業を進める上で必要となる飲食店について同ガイドラインの順守する。

主な取り組みは「入店時の検温やマスク着用等の対応」「客席のパーティション設置や間隔」「テーブルサービスの方法」「会計処理について」「テイクアウトやデリバリーの方法」「従業員の安全衛生管理」である。

●観光コンテンツ：「屋内イベント開催制限」（内閣府） その他該当する業種のガイドライン

観光コンテンツについては、内閣府による制限を遵守しつつ使用する施設に該当する業種別のガイドラインを遵守する。また、できる限り人混みを避けるコンテンツの開発を行う。

⑨その他（特筆すべき取組等）

2021年3月：ワーケーション推進の為にウェビナーイベント開催（計58名参加）

2021年3月：ワーケーション冊子を作成（2,000社に配布）

2021年7月より：ワーケーション推進アドバイザー招聘（地方創生アドバイザー事業）

<トライアルプログラム提案書> (モデル地域)

申請団体名	逗子市
-------	-----

トライアルプログラムで実施するワーケーションの種類 (どれか一つ)			
1.福利厚生型		4.サテライトオフィス型	○
2.地域課題解決型		5.プレジャー型	
3.合宿型			

日数	プログラム内容			
	朝	昼	夕	宿泊
記入例	11:00~12:00 地域の紹介、施設等説明	12:00~13:30 自由昼食 13:30~18:00 カフェ××での執務時間	18:30 宿泊施設チェックイン 20:00 星空観賞ツアー	〇〇 ホテル
1日目 (平日)	11:00~12:00 地域の紹介、ワーキング施設の 詳細説明	12:00~13:00 昼食 (チケット利用) 13:00~18:00 市内のワーキングスペースでの 執務時間	18:30 宿泊施設チェックイン 19:00 逗子商店街等での夕食 (チケット利用)	市内宿泊施設
2日目 (平日)	朝食 (チケット利用) 9:00~ 市内のワーキングスペースでの 執務時間	11:30~14:30 昼食を兼ねた マリン&海上ランチ体験 (海上でのランチを堪能、ま た岩場上陸で逗子の海の違 う一面を見る)	夕方 市内のワーキングスペースでの 執務時間 18:00 逗子商店街での夕食 (チケット利用)	市内宿泊施設
3日目 (平日)	朝食 (チケット利用) 早朝ヨガ体験等 9:00~ 市内ワーキングスペースでの執 務時間	12:00~13:00 昼食 (チケット利用) 13:00~17:00 市内のワーキングスペースでの 執務時間	17:00~18:30 焚き火カフェ 18:30 逗子商店街での夕食 (チケット利用)	市内宿泊施設
4日目 (平日)	朝食 (チケット利用) 午前:チェックアウト 自由時間	昼食前、解散		

ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標について適合状況

1. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等

○ 1段階目の認定を取得しており、かつ、「評価項目3：労働時間等の働き方」の基準を満たしている。

【 該当 ・ 該当しない 】

○ 2段階目の認定を取得しており、かつ、「評価項目3：労働時間等の働き方」の基準を満たしている。

【 該当 ・ 該当しない 】

○ 3段階目の認定を取得している。

【 該当 ・ 該当しない 】

○ 一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定・届出をしており、かつ、常時雇用する労働者が300人以下である。

【 該当 ・ 該当しない 】

2. 次世代育成支援対策推進法に基づく認定

○ 「くるみん認定」を取得している。

【 該当 ・ 該当しない 】

○ 「プラチナくるみん（特例）認定」を取得している。

【 該当 ・ 該当しない 】

3. 青少年雇用促進法に基づく認定

○ 青少年雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定）を取得している。

【 該当 ・ 該当しない 】

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 デジタル推進課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 8.9 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	2	1	9	1	1

事業名 デジタル推進事業

補正額 747 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 747 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症予防対策として急増しているweb会議・研修等のリモートワークの促進を目的とした特定目的室設置に必要な機器等を整備するもの。

説明

消耗品

- ・フェルトパーティション6個 83,701円
- ・ミドルバックメッシュチェア(肘なし)14脚 90,860円
- ・レバー式昇降パーソナルデスク2個 23,980円

庁用備品

- ・フラップテーブル幕板付き4個 147,400円

機械器具費

- ・75インチ液晶テレビ1台 237,508円
- ・テレビスタンド1台 96,195円
- ・32インチ液晶ディスプレイ1台 30,580円
- ・27インチ液晶ディスプレイ1台 34,980円

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 市民協働課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 8.9 ページ

	款	項	目	細目	細々目
科目	3	1	1	6	1

事業名 人権推進事業

補正額 129 千円

歳入 予算説明書 ページ

	款	項	目	節	細節
科目					

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

いじめ防止対策推進法に基づく逗子市いじめ防止基本方針の策定に当たり、当該基本方針に基づくいじめ問題再調査委員会を新規に設置するため。

説明

歳出

○その他特別職職員報酬 100千円

1. いじめ問題再調査委員会 100,000円
委員20,000円×5名×1回

○委託料 29千円

1. いじめ問題再調査委員会会議録反訳 28,600円
13,000円×2H×1.1

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 保育課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	3	2	2	3	8

事業名 放課後児童クラブ事業

補正額 2,162 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 2,162 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

新型コロナウイルス感染症予防対策として、小坪小学校区放課後児童クラブの施設にサンルーム設置工事を実施するもの。

説明

歳出

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、小坪小学校区放課後児童クラブの施設内の密を防止するため施設にサンルームを設置し、子どもたちがソーシャルディスタンスをとれるようにするもの。

*サンルーム設置工事費 1,878,030円

*エアコン設置工事費 283,046円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 子育て支援課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	3	2	2	9	1

事業名 ふれあいスクール事業

補正額 482 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 482 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染症予防事業に関わる者等への感染症予防のため、感染症対策用消耗品を整備するもの。

説明

小学生の放課後の居場所であるふれあいスクール及び、乳幼児の交流場所であるほっとスペースに、新型コロナウイルス感染拡大予防のため消毒液を購入するもの。

消毒液 (5 リットル) 4,000円×90本×1.08=388,800円

手指消毒液 (1 リットル) 1,400円×60本×1.1=92,400円

合計 481,200円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会

議案第 42 号

令和 3 年度 一般 会計

補正予算 第 6 号

課かい名 保育課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	3	2	5	2	2

事業名 湘南保育園維持管理事業

補正額 1,441 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 1,441 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

新型コロナウイルス感染症予防対策として、園舎2階につながる外階段を保護者用通路として安全に活用するため、改修工事を行う。

説明

歳出

湘南保育園では新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、送迎の保護者の動線を分けるため、昨年度から2階の乳児室への送迎は外階段を使用しているが、階段の老朽化によりコンクリートの剥がれが生じ危険なため、階段の修繕工事を行うもの。

*湘南保育園外階段修繕工事費 1,441,000円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会

議案第 42 号

令和 3 年度 一般 会計

補正予算 第 6 号

課かい名 保育課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	3	2	5	3	2

事業名 小坪保育園維持管理事業

補正額 638 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 638 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

新型コロナウイルス感染症予防対策として、小坪保育園サンルームに空調機を設置するもの。

説明

歳出

小坪保育園では乳児クラスの新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、サンルームを活用し三密の防止をしているが、夏は暑く、冬は寒いため、快適な状態で利用できる日が少ない。年間を通して乳児が快適に生活できるよう、空調機を設置するもの。

*小坪保育園空調機設置工事費 638,000円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 緑政課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	1	2	2	2

事業名 緑化推進事業

補正額 205 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	19	2	5	1	1

細節名 みどり基金繰入金

補正額 205 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

広報ずしで周知を行ったところ、予想を上回る申込みがあり、予算に不足が生じるため。

説明

【当初予算額】 270,000円
【支出確定額】 220,000円 (生垣 1 件、シンボルツリー12件)
【支出予定額】 255,000円
生垣：60,000円 (見込み) × 3 件 = 180,000円
シンボルツリー：15,000円 (見込み) × 5 件 = 75,000円

(支出確定額220,000円+支出予定額255,000円) - 当初予算270,000円
= 不足額205,000円

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号
課かい名 緑政課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	1	2	4	1

事業名 みどり基金積立金

補正額 5,559 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

令和2年度分の森林環境譲与税の額の確定及び、ふるさと納税（令和3年3月16日～3月31日）の収入に伴い、繰入れ必要額が確定したことから、既に繰入した金額との差額を同基金に戻すため積立てるもの。

説明

- ・森林環境譲与税分 5,026,000円
- ・ふるさと納税（令和3年3月16日～3月31日）分 533,000円

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号
課かい名 緑政課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 10.11 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	1	3	2	5

事業名 街区公園維持管理事業

補正額 679 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

令和3年6月25日に倒木のあった桜山公園について、倒木の応急処理を実施したことのほか、隣接する危険樹木の伐採及び当初予定していた公園樹木の剪定を行うもの。

説明

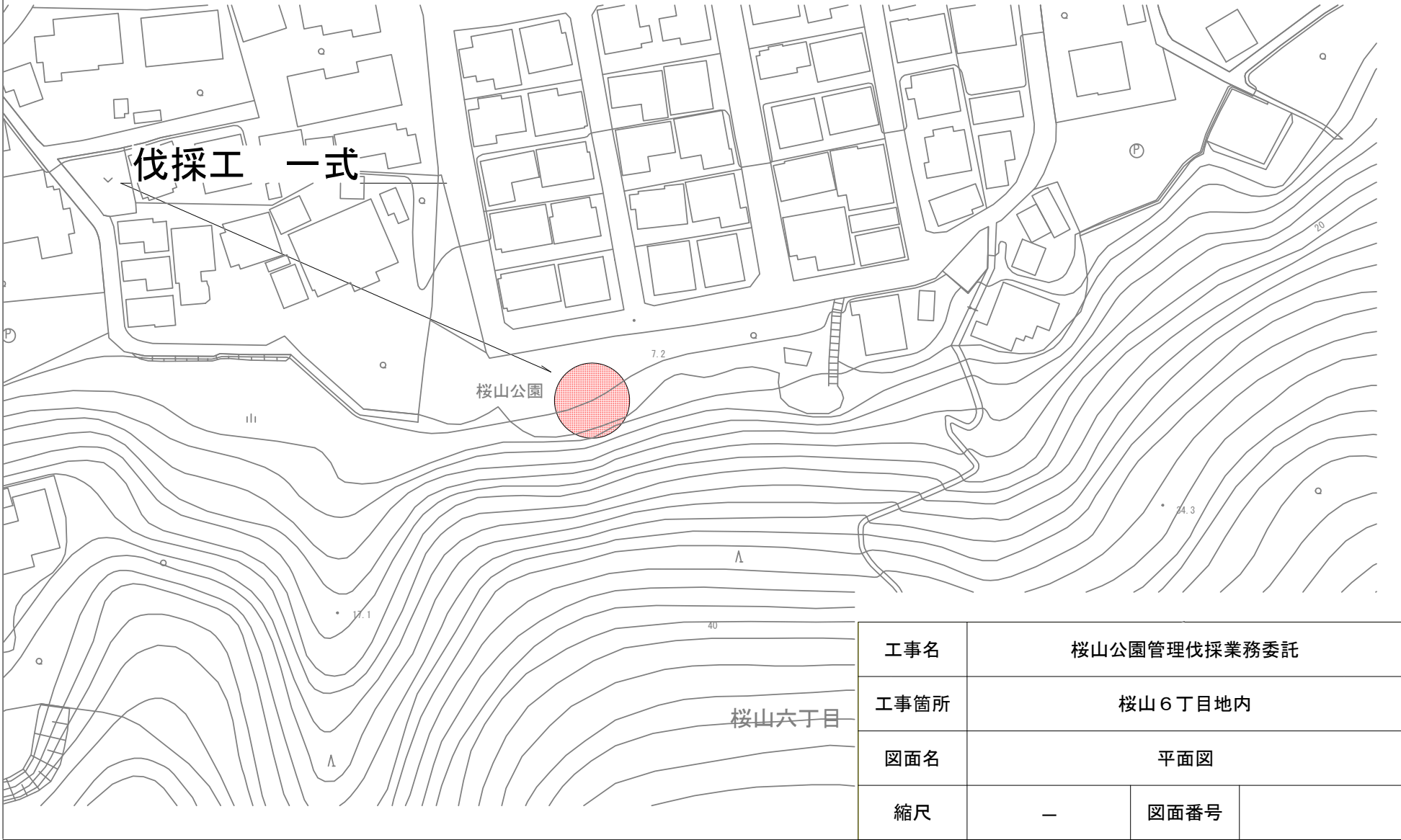
13・1 (委託料)

【予算額】	8,623,000円	
【補正前残額】	108,173円	
・桜山公園倒木処理業務委託	192,500円	1本 (実施済)
【所用額】	786,500円	
・桜山公園危険樹木伐採業務委託	493,900円	2本 (10月上旬着手予定)
・公園樹木高木剪定業務委託料	292,600円	(ハイランド朝陽丘公園)
【不足額】	678,327円	

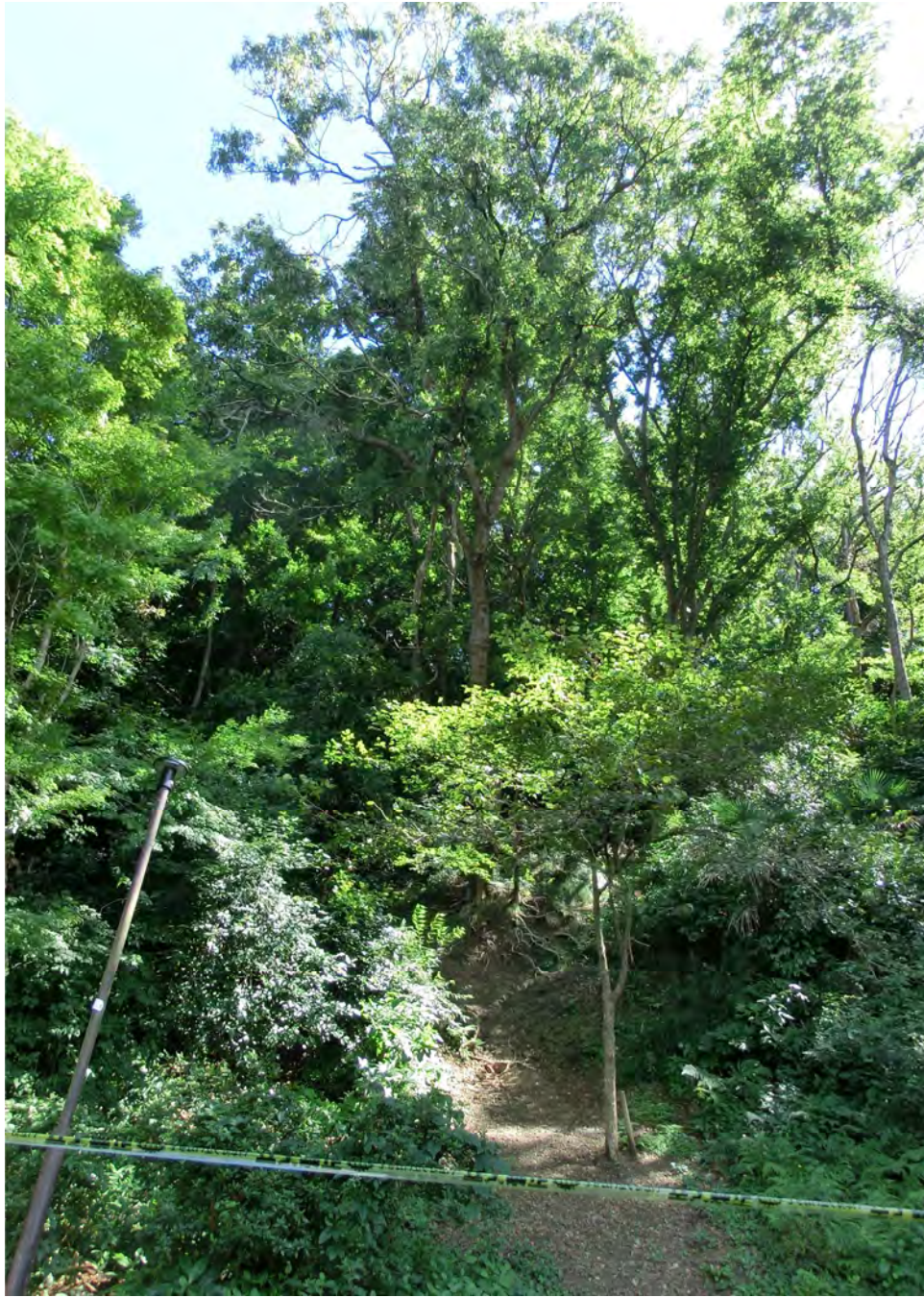
位置図



平面図



工事名	桜山公園管理伐採業務委託		
工事箇所	桜山6丁目地内		
図面名	平面図		
縮尺	—	図面番号	



議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 都市整備課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 12.13 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	2	1	2	1

事業名 防災工事助成事業

補正額 2,352 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

(歳出)

令和3年7月3日の大雨の風水害等の影響で防災工事助成制度の申請希望者が増え、予算を超える見込みが生じたため事業費の補正を行うもの。

説明

(歳出)

予算額	: 9,000,000円
執行済額	: 7,751,500円
伐採工事見込額	: 200,000円
防災工事見込額	: 3,400,000円
予算要求額	: 2,352,000円

令和3年度防災工事費助成整理表

番号	種別	申請者	申請者住所	申請箇所	工事金額	助成金	施工業者	申請日	決定日	着手日	検査日	備考
1	伐採				1,494,350	100,000		R3.5.6	R3.5.7	R3.5.8		
2	工事				5,780,500	2,000,000		R3.5.20	R3.5.20	R3.6.1		
3	工事				2,024,000	1,012,000		R3.6.8	R3.6.14			
4	工事				3,278,000	1,639,000		R3.6.8	R3.6.14			
5	工事				2,343,000	1,171,500		R3.6.9	R3.6.14			
6	工事				2,167,000	1,083,500		R3.6.15	R3.6.15			
7	伐採				165,000	82,500		R3.7.2	R3.7.2			
8	伐採				322,300	100,000		R3.7.7				
9	工事				726,000	363,000		R3.7.9				
10	伐採				1,391,500	100,000		R3.7.13				
11	伐採				220,000	100,000		R3.8.2				
	予定				3,200,000	1,600,000						
	予定				200,000	100,000						
	予定				200,000	100,000						
	予定				2,600,000	1,300,000						
	予定				1,000,000	500,000						
	計					11,351,500						
	予算					9,000,000						
	補正											
	予備費充用											
	残金					-2,351,500						

工事	10,669,000	9 件	※防災工事助成金 2,000,000円 × 4件 = 8,000,000円
伐採	682,500	7 件	※伐採工事助成金 100,000円 × 10件 = 1,000,000円
計	11,351,500	16 件	

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会

議案第 42 号

令和 3 年度 一般 会計

補正予算 第 6 号

課かい名 都市整備課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 12.13 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	3	1	2	1

事業名 境界確定事業

補正額 3,500 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 3,500 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

(歳出)

新型コロナウイルス感染症予防対策として、窓口業務における接触を避けるため、境界確定図を電子化するもの。また、境界確定図の電子化により、個人情報保護対策の強化を図る。

説明

(歳出)

境界確定図電子化業務 3,500,000円

主な業務内容

- ・既存の境界確定図 (A2サイズ以上) 約2,000枚のスキャニング
- ・個人情報の墨消し作業

境界確定事業

課長	係長	審査	設計				

令和 03 年度 設計積算書表紙 (当初)

設計書番号	年度 03	課・事業所 1101	班 00	連番 0701	区分 1	変更回数 00	基準区分 V0
事業所名	逗子市						
(工事・業務)名	境界確定図等電子化業務委託						
(工事・業務)箇所	逗子市内全域						
(河川・路線・区域)名							
単価採用地区名	逗子						
事業区分							
起案・決裁	起案日 令和 年 月 日			決裁日 令和 年 月 日			
工期	契約日から 年 月 日 まで						
設計金額	(円)						
	3,509,000 円						
設計概要							
(起工・変更)理由							

境界確定事業

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
業務委託							
直接費			1	式		1,668,648	
計画準備			1	式		178,256	
計画準備			1	式		178,256	技術経費率：0.0 % 第 8001 号 内訳書
資料収集整理			1	式		253,500	
資料収集整理			1	式		253,500	技術経費率：0.0 % 第 8002 号 内訳書
スキャニング マイラー (A2)			1	式		681,096	
マイラー (A2)			1	式		681,096	技術経費率：0.0 % 第 8003 号 内訳書
スキャニング 筒状			1	式		103,200	
筒状			1	式		103,200	技術経費率：0.0 % 第 8004 号 内訳書
スキャニング 1/500確定図			1	式		2,324	
1/500確定図			1	式		2,324	技術経費率：0.0 % 第 8005 号 内訳書
スキャニング 1/300確定図			1	式		11,786	

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1/300確定図			1	式		11,786	技術経費率：0.0 % 第 8006 号 内訳書
スキャニング 移管図			1	式		25,168	
移管図			1	式		25,168	技術経費率：0.0 % 第 8007 号 内訳書
スキャニング 水路			1	式		38,346	
水路			1	式		38,346	技術経費率：0.0 % 第 8008 号 内訳書
境界確定図画像データ整理			1	式		105,417	
境界確定図画像データ整理			1	式		105,417	技術経費率：0.0 % 第 8009 号 内訳書
個人情報墨消し作業			1	式		269,555	
個人情報墨消し作業			1	式		269,555	技術経費率：0.0 % 第 8010 号 内訳書
設計業務価格			1	式		1,668,648	
諸経費			1	式		1,526,808	
委託業務価格			1	式		3,190,000	
消費税及び地方消費税相当額			1	式		319,000	

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会

議案第 42 号

令和 3 年度 一般 会計

補正予算 第 6 号

課かい名 都市整備課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 12.13 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	7	3	3	2	2

事業名 道路改良事業

補正額 4,334 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

(歳出)

逗子市道山の根78号(逗子市山の根2丁目地内)隣接斜面地において、令和3年7月3日の大雨で法面災害の風水害が生じたことについて、法面復旧工事をするための事業費の補正を行うもの。

説明

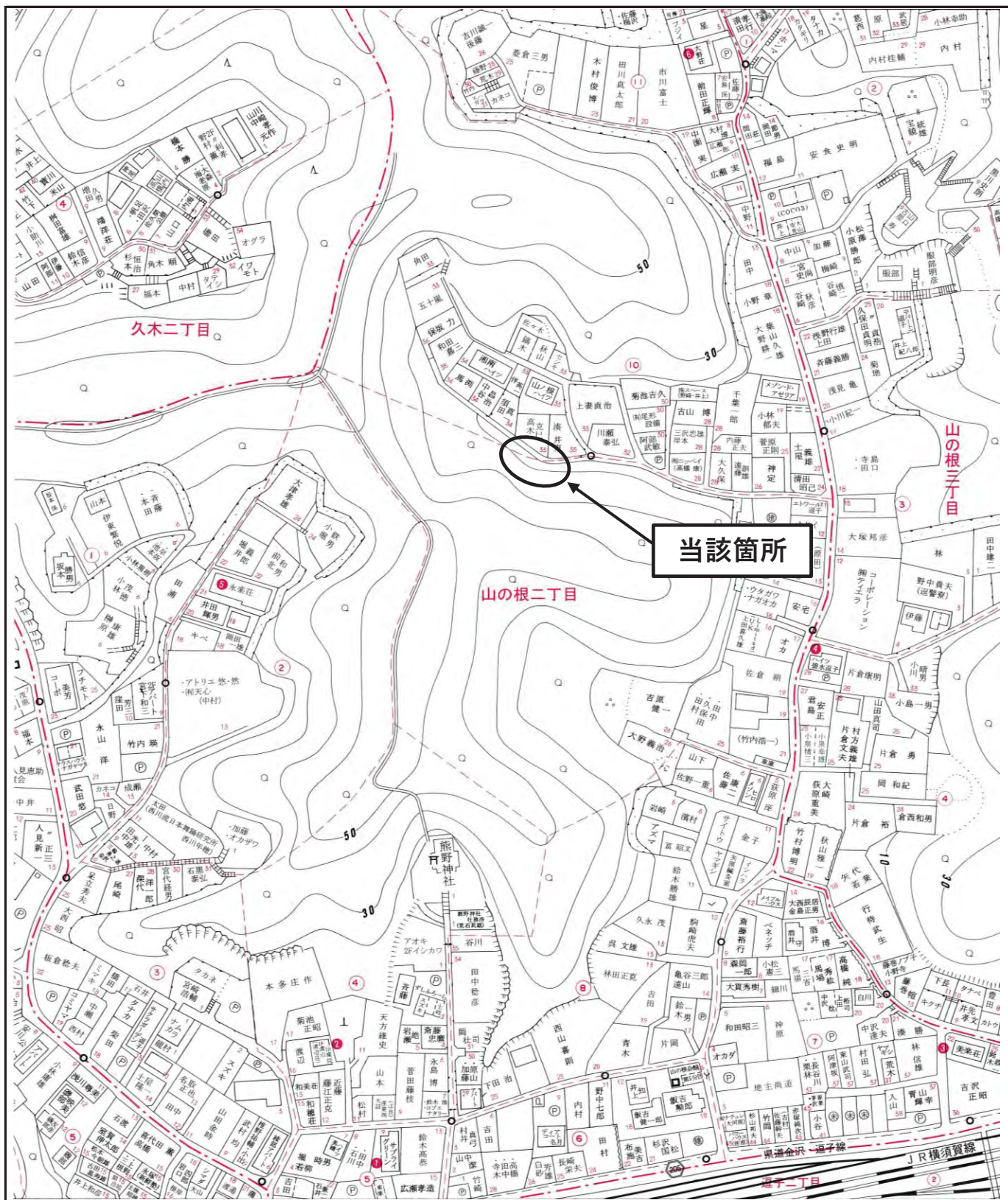
(歳出)

- 法面災害復旧工事(山の根2丁目)
4,334,000円(消費税相当額394,000円)

内容

- 準備工 1式
- 落石防止網設置工(H9m×W12m) 90m²
- 土留柵設置工 L=13.3m、H=1.8m
- 保安工 1式

位置図



道路改良事業



工種	種別	着手前及び完成写真
種別	別	
細別	別	
写真区分	区分	着手前及び完成写真
写真タイトル	タイトル	着手前
撮影箇所	箇所	山の根2丁目地内

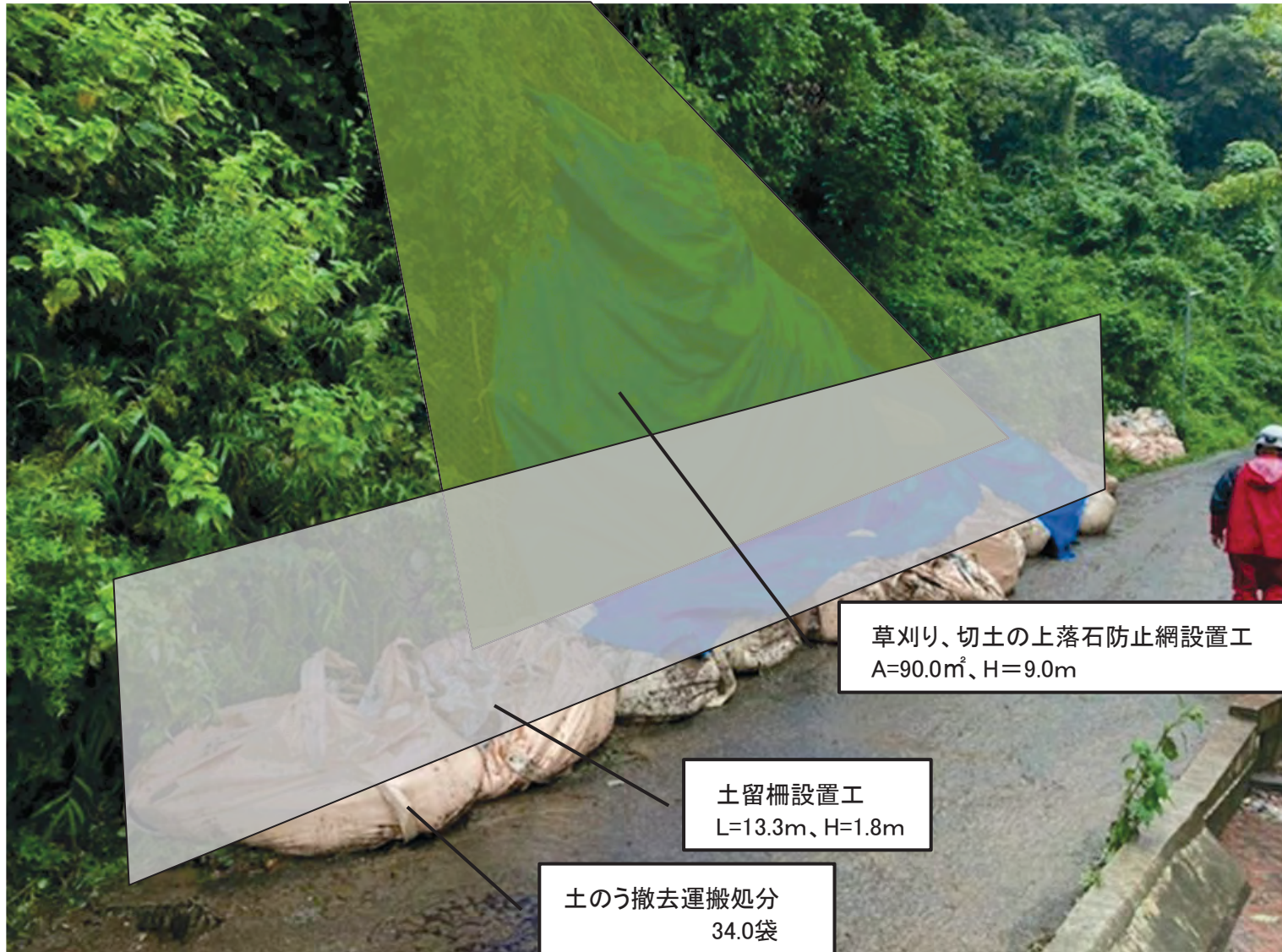


工種	種別	着手前及び完成写真
種別	別	
細別	別	
写真区分	区分	着手前及び完成写真
写真タイトル	タイトル	完成
撮影箇所	箇所	山の根2丁目地内



工種	種別	着手前及び完成写真
種別	別	
細別	別	
写真区分	区分	着手前及び完成写真
写真タイトル	タイトル	完成
撮影箇所	箇所	山の根2丁目地内

現況写真



草刈り、切土の上落石防止網設置工
A=90.0m²、H=9.0m

土留柵設置工
L=13.3m、H=1.8m

土のう撤去運搬処分
34.0袋

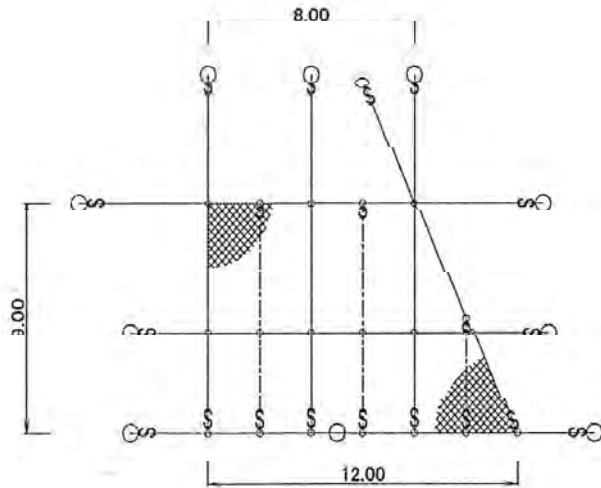
道路等補修工事()

運子市山の根2丁目地内

—金 4,334,000 円也

名 称	形 状・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
準備工						
草刈り		1.0	式		30,000	
集草運搬処分		1.0	式		20,000	
土砂撤去運搬処分	1t土囊及び草混じり土	34.0	袋	15,000	510,000	
切土		10.0	m3	9,000	90,000	
土砂積み		10.0	m3	3,000	30,000	
残土運搬処分		10.0	m3	15,000	150,000	
小 計					830,000	
落石防止網設置工	H9m*W12m					
法面清掃工		90.0	m2	650	58,500	
金網ロープ設置	2.2φ×50×50 Z-CS2	90.0	m2	7,500	675,000	
アンカー設置	D32*1000	11.0	本	29,000	319,000	
資機材運搬荷揚げ費		90.0	m2	900	81,000	
小 計					1,153,500	
土留柵設置工	L=13.3m H=1.8m					
支柱穴掘削	Φ200 H=1.0m	15.0	箇所	8,000	120,000	軟岩
残土運搬処分		0.5	m3	15,000	7,500	
支柱建込	11100+100+0000	15.0	本	10,000	270,000	
根巻コンクリート打設		15.0	箇所	3,000	45,000	
コンクリート板取付	910*298*60	84.0	枚	4,500	378,000	

落石防止網（覆式）展開図



S=1/100

計画数量調書

凡例	品名	規格	単位	数量	備考
	笠網	Z-6S3	m	90.0	普通メッキ品
—	ワイヤーロープ	16φ	m	図示参照 普通メッキ品	
---	ワイヤーロープ	12φ	m		
—	結合コイル	3.2φ×50×300 Z-6S3	本		
φ	フムフム	10φ・10φ/m	個		
\$	巻付グリップ	16φ	本		
\$	巻付グリップ	12φ	本		
○	セメントアンカー	D32 (M30) ×1000	本	11	普通メッキ品

架設面積 90.0㎡

- * 設置範囲、アンカーの種類は、現地調査後に再度選定を行う
- * 本図面は概略設計であるため、詳細部の変更の場あり

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 消防総務課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 12.13 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	8	1	2	1	1

事業名 消防団活動事業

補正額 589 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	21	4	4	5	4

細節名 消防団員安全装備品整備事業助成金

補正額 589 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

【歳出】

消防団員が、消防活動中の安全性と行動性を高めことを目的とし、防火手袋を整備するもの。

説明

【歳出】

◎消防団員防火手袋 119双 事業費 589,000円

【歳入】

◎消防団員等公務災害補償等共済基金
消防団員公務災害防止活動援助事業
消防団員安全装備品整備事業助成金

◎助成決定事業内容及び助成金決定額
消防団員防火手袋の整備 589千円

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 学校教育課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 12.13 ページ

科目	款	項	目	細目	細々目
	9	1	3	2	10

事業名 いじめ防止等対策事業

補正額 304 千円

歳入 予算説明書 ページ

科目	款	項	目	節	細節

細節名

補正額 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

いじめ防止対策推進法に基づく逗子市いじめ防止基本方針の策定に当たり、当該基本方針に基づく協議会等を新規に設置するため。

説明

歳出

- その他特別職職員報酬 196千円
 - 1. いじめ問題対策連絡協議会委員 35,500円
会長12,500円+委員11,500円×2名
 - 2. いじめ問題調査委員会 160,000円
委員20,000円×4名×2回
- 委託料 108千円
 - 1. いじめ問題対策連絡協議会会議録反訳 35,750円
1回×2.5H×13,000円×1.1
 - 2. いじめ問題調査委員会会議録反訳 71,500円
2回×2.5H×13,000円×1.1

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 療育教育総合センター

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 14.15 ページ

科目	款	項	目	事業1	事業2
	9	1	4	4	1

事業名 教育研究所維持管理事業

補正額 235 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

科目	款	項	目	節	細節
	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 235 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、職員及び来館者用感染症対策備品等を購入する必要があるもの。

説明

歳出
空気清浄機等の購入に係る経費
一式 235,000円

議案等資料 (補正予算資料)

令和 3 年 第 3 回 定例会
議案第 42 号
令和 3 年度 一般 会計
補正予算 第 6 号

課かい名 教育総務課

歳入歳出予算

歳出 予算説明書 14.15 ページ

	款	項	目	細目	細々目
科 目	9	3	1	2	5

事業名 学校施設整備事業

補正額 7,700 千円

歳入 予算説明書 4.5 ページ

	款	項	目	節	細節
科 目	15	2	1	1	3

細節名 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

補正額 7,700 千円

歳入歳出予算以外

予算書 ページ

補正の理由

市立中学校に空調機の新設及び更新を行い、密な状態を避け、適切に換気・室温管理を行いながら、新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、生徒の安心安全な学校生活を確保するもの。

説明

歳出

逗子中学校

新設：管理・特別教室棟 1 階第 2 会議室、2 階図書閲覧室

久木中学校

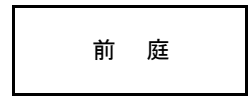
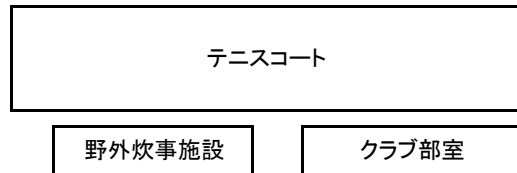
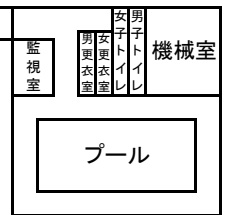
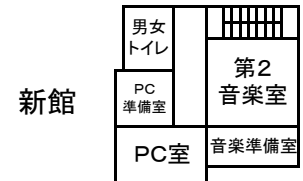
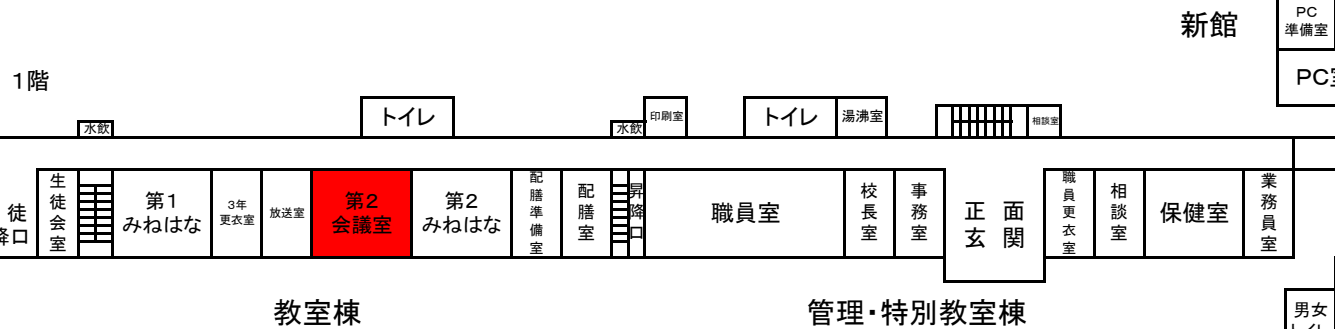
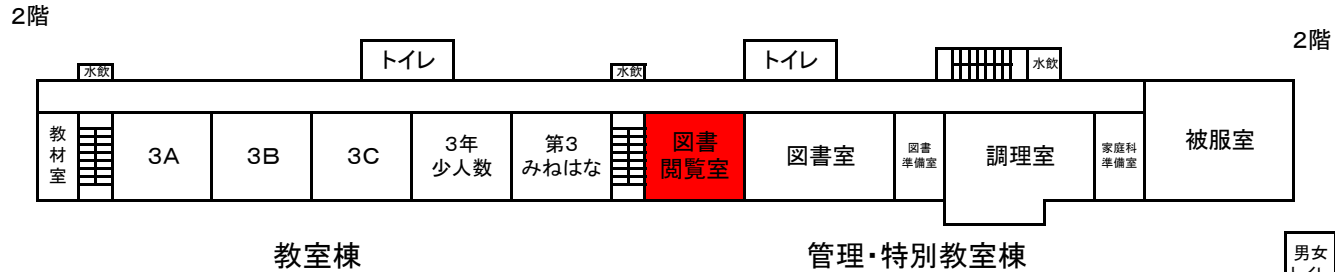
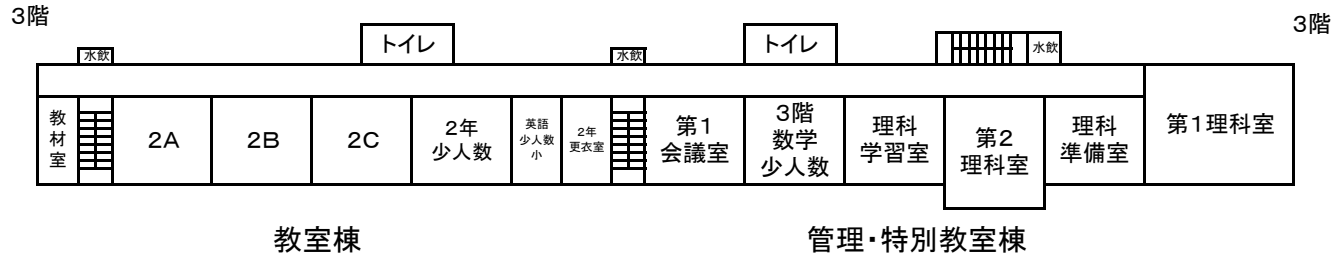
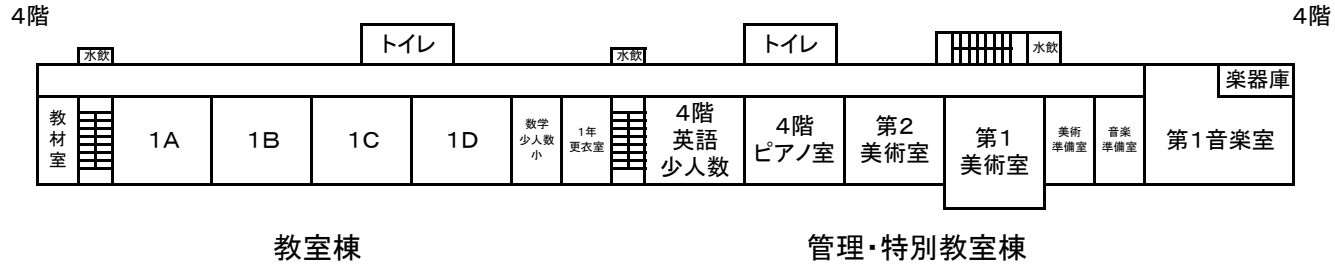
新設：A 棟 1 階小会議室、B 棟 1 階支援 2 教室

沼間中学校

新設：2 階相談室

更新：1 階パソコン室、放送室・スタジオ

逗子中学校 教室配置図



生徒
通用門

正門

通用門

久木中学校 教室配置図

2021（令和3）年 教室配置図（校舎配置図）

